

フランス大統領選挙

～マクロン氏が勝利したが、欧州政治リスクの払拭には至らない～

2017年5月9日

お伝えしたいポイント

- ・ フランス大統領選挙の結果はマクロン氏が勝利
- ・ 事前の世論調査通りの結果となり、為替市場への影響は限定的
- ・ 欧州の政治リスクが払拭されたわけではなく、イタリアの総選挙が警戒される

<フランス大統領選挙の結果はマクロン氏が勝利>

5月7日(現地)、フランス大統領選挙の決選投票が実施され、親EU(欧州連合)・中道系独立候補のエマニュエル・マクロン氏がEU離脱や反移民を掲げる極右政党・国民戦線のマリーヌ・ルペン氏を破り、勝利しました。

これまで政権を担ってきた既存の二大政党の政治に不満を持つ有権者の幅広い支持を集めたことや、ルペン氏の当選を阻みたい有権者の票を集めたことがマクロン氏が勝利した背景にあるとみられています。

エマニュエル・マクロン氏について

| | |
|------|---|
| 政治姿勢 | 中道、親EU派 |
| 経歴 | 1977年生まれ 国立行政学院(ENA)卒、投資銀行を経て、オランド政権で経済相 |
| 主な政策 | 法人減税(33.3%→25%) 600億ユーロの歳出削減 移民の受け入れ |

(出所)各種資料に基づき大和投資信託作成

<事前の世論調査通りの結果となり、為替市場への影響は限定的>

今回の選挙結果を受けて欧州の政治リスクへの懸念が後退し、日本時間8日早朝の為替市場ではユーロが対円で上昇して始まりました。ただし、マクロン氏の勝利は事前の世論調査通りの結果で市場に織り込まれていたことや、投機筋のユーロの買い戻しが一巡してきたことから、為替市場への影響は限定的となりました。

ユーロ(対円)の推移



当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

<欧州の政治リスクが払拭されたわけではなく、イタリアの総選挙が警戒される>

2017年に入ってオランダ、フランスの選挙で反EU派が敗退しましたが、オランダでは与党が議席を減らし、フランスでは既存の二大政党が勝利できませんでした。欧州の政治リスクが払拭されたわけではなく、今後の政治イベントには引き続き注意が必要と考えています。特に2018年5月までに実施されるイタリアの総選挙が最も警戒され、市場でリスク回避の動きが強まる局面が再び訪れる可能性は高いとみています。

欧州の主な政治日程（予定）

| | |
|-----------|--------------------|
| 6月8日 | 英国総選挙 |
| 6月11日 | フランス下院選挙（第1回投票） |
| 6月18日 | フランス下院選挙（決選投票） |
| 9月 | フランス上院選挙 ドイツ総選挙 |
| 2018年5月まで | イタリア総選挙 |

以上